

数学を通じて学んできたこと

令和元年度 数学・数理解析専攻長
加藤 毅

皆さんご卒業おめでとうございます。今年度は、1月初旬に世界中で認識され始めた新型コロナウイルスの感染症対策のために、学士学位記授与式は中止になりました。現在では大学院に進学して数学の研究を継続して行っている方々や、就職して社会で活躍されている方々がおられることと思います。人生の節目となるこの大切な催事を行えなかったことは、教職員一同大変残念であるとともに、ご家族や関係者のみなさまが残念に思う気持ちがいかほどかと拝察いたします。

それだけにとどまらず、現在でもその影響の大きさには計り知れないものがあります。例えば日常生活においても、不要不急の外出を控えるように、国や市町村から言われてきたことは記憶に新しいところです。また今年度の講義の大半はオンラインで行われており、学生生活も大きく様変わりしています。この困難を乗り越えるために社会全体で大きな労力を費やしつつも、そのシステムが変わっていきました。このような事態が起こるとは多くの人が全く想定していなかった中で、変化をおそれずに問題解決に立ち向かっていく姿勢に、人間のたくましさを感じています。

大学院に進学して研究を継続するまたは社会で活躍していくためには、環境の変化に柔軟に対応していく必要があります。一方で環境が変わっても変わらないことがあります。それは「学ぶ姿勢」だと思います。皆さんは学部時代の生活を通して、数学の基礎体力を身に付けてきました。数学は論理の積み上げで成立する学問なので、それについていくためにはひたすら教科書を読んでいくなどして思考訓練を行っていく必要があります。学部1回生の微分積分の講義で「イプシロン・デルタ論法」の考え方を習得するまでに苦勞をした方もいるのではないのでしょうか。講究では決して易しくはない教科書や論文を少しずつ読み進めていくことにより、トータルではたくさんの勉強量をこなしていくことで、それぞれの分野の専門的な理論を学んできました。何かを理解したりまたは身につけるためには、反復訓練を継続して行うことが非常に大事なことになってきます。そのように鍛錬していくことは、講義がオンラインになって環境が変化しても変わることはありません。数学の勉強を通じて反復訓練を体験してきたことの重要性は、何年経ってからでもきっと理解する時が来て、それは数学だけにとどまらず人生の多くの場面で応用していくことが可能になると信じています。

環境の変化に柔軟に対応していくことと、そのような中であっても大学時代に身につけた学びの姿勢を変わずに持ち続けていくことで豊かな人生を築きながら、これ

から遭遇するであろう様々な困難を乗り越えていかれるとともに、皆さんの人生が花開いて大きく活躍されていく姿を心より期待しています。ご卒業、誠におめでとうございます。